令和元年度　企業間専門人材派遣支援モデル事業に係る企画提案書審査基準及び採点表　　（別紙3）

			提案者名				
			評価者名				
評価項目	評価区分 必須／任意	評価基準	配点			評価	点数
1．業務の実施方針等					50		
1．1　業務内容の妥当性、独創性	必須・任意		基礎点	加点	合計点		
		●仕様書記載の「事業の趣旨・背景」を理解しているか。 ●仕様書記載の「業務内容」について全て提案されているか。	5		10	○=5・×=0	
		○仕様書に示した「業務内容」以外の独自の提案がされているか。		5		S=5/A=3/B=2/C=0	
1．2　業務実施方法の妥当性、独創性	必須・任意						
		●業務の目的と実施方法との間で整合性が取れているか。 ●業務内容、業務の実施方法が明確であり、現実的で妥当な内容であるか。	5		25	○=5・×=0	
		○業務の実施方法の中に、事業効果を高めるための工夫がみられるか。					
		・仕様書3．（6）、（7）、（10）、（11）の実施方法について、過去の類似事業の経験・蓄積を踏まえた工夫など具体的な方法がみられるか。		4		S=4/A=2/B=1/C=0	
		・仕様書3．（1）の実施方法について、被災地域や被災地企業の実態を踏まえた、事業効果を高める実施方法となっているか。		4		S=4/A=2/B=1/C=0	
		・仕様書3．（2）（5）の実施方法について、実施方法に過去の類似事業の経験・蓄積を踏まえ、専門人材の被災地での活躍を促進するための適切な実施方法となっているか。		4		S=4/A=2/B=1/C=0	
		・仕様書3．（3）の実施方法について、過去の類似事業の経験・蓄積を踏まえた適切かつ効率的なマッチングとなっているか。		4		S=4/A=2/B=1/C=0	
		・仕様書3．（4）の実施方法について、被災地域や被災地企業の実態を踏まえた、事業効果を高めるための実施方法となっているか。		4		S=4/A=2/B=1/C=0	
1．3　作業計画の妥当性、効率性	必須・任意						
		●業務目的の達成に向けて、日程・人員・作業手順等が妥当な内容であるか。	5		10	○=5・×=0	
		○スケジュールが適切に実行できるように工夫され、効果的であるか。		5		S=5/A=3/B=2/C=0	
1．4　業務実施体制等	必須						
		●業務の実施体制及び役割分担等が具体的に記載されているか。 ●担当者名（採用予定者は採用予定者Aなどとする。）が記載されているか。	5		5	○=5・×=0	
2．組織の経験・能力					38		
2．1　類似業務の経験	必須・任意						
		●類似事業の経験・蓄積を有しているか。	10		15	○=10・×=0	
		○過去に官公庁における類似業務の豊富な契約実績を有しているか。		5		S=5/A=3/B=2/C=0	
2．2　組織としての実施能力	必須・任意						
		●業務が遂行可能な人員が確保されているか。 ●業務を行う上で適切な財政基盤、経理処理能力、情報管理能力を有しているか。	10		15	○=10・×=0	
		○優れた情報収集・情報分析能力を有しているか。 ○国からの要望に迅速かつ柔軟に対応できる体制が備わっているか。		5		S=5/A=3/B=2/C=0	
2．3　業務にあたっての管理・バックアップ体制	必須・任意						
		●円滑な業務遂行のための人員補助体制、管理体制が備わっているか。	4		8	○=4・×=0	
		○管理者の経験や知見はあるか。		4		S=4/A=2/B=1/C=0	
3．業務従事予定者の経験・能力					10		
3．1　業務従事予定者の専門知識・適格性	任意						
		○業務内容に関する専門知識・知見を有しているか。 ○業務に関するプロジェクト管理能力を有しているか。		5	5	S=5/A=3/B=2/C=0	
3．2　類似業務の経験	必須						
		●類似業務での実績はあるか。	5		5	○=5・×=0	
4．ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標					2		
※複数の認定等に該当する場合は、最も配点が高い区分により加点を行う。	任意	○女性活躍推進法に基づく認定の有無（えるぼし認定企業）		2	2		
		○次世代法に基づく認定の有無（くるみん認定企業・ﾌﾟﾗﾁﾅくるみん認定企業）		1.5			
		○若者雇用促進法に基づく認定の有無（ユースエール認定企業）		1.5			
合計		基礎点	49		100		
		加点		51			

※上記評価基準のうち、●のついたものが基礎点に関わる要件である。